

# 歯科技工士アンケートの結果①-集計-

## 仕事内容やチェアサイド等での現状

「歯科技工士アンケート」は、昨年12月13日に県下の就業歯科技工士のほぼ全数を視野に416件の県下全歯科技工所、「歯科技工加算」届出有の全114件の医療機関の各歯科技工士宛で依頼した。歯科技工加算の届出なしで歯科技工

就業先	男	女	合計
医療機関	29	13	42
歯科技工所	130	9	139
合計	159	22	181
記入なし16人含む合計			197
医療機関	15%	7%	21%
歯科技工所	66%	5%	70%
記載なし	8%		8%

項目	人数	割合
1、歯科技工所の開設者	39	20%
2、歯科技工所の開設者であり管理者	98	50%
3、歯科技工所の管理者	3	2%
4、歯科技工所に勤務	14	7%
5、病院に勤務	20	10%
6、歯科医院に勤務	23	12%
合計	197	100%

就業先	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	未記載	合計
医療機関	4	8	9	18	4	0	0	0	43
歯科技工所	1	10	31	65	35	8	3	1	154
合計	5	18	40	83	39	8	3	1	197
	3%	9%	20%	42%	20%	4%	2%	1%	100%

士が勤務する医療機関も若干あると推測されるが、集計作業が本年にずれ込んだため、1月に入り届いた分も入れ、計197名から回答を得ることができた。この数は、アンケートの依頼文にも入れていた参考の表

「就業歯科技工士と歯科技工所の推移」からみて670名前後と推定される県下の就業歯科技工士の3割にあたる数。なお右上「アンケートの依頼方法と回収数」の注にあるように歯科技工所分で24件が「宛所になし」で戻ってきており、歯科技工所を継続されているかが心配されるところでもある。

設問1から設問5は基礎的な質問。設問1では年齢を聞いた。50歳代の42%をピークにその前後の40歳代、60歳代がそれぞれ20%になっている。設問2は性別を聞いた。未記載が1割ほど出たが、女性が2割を占め、医療機関では男女比率が詰まっている。設問3は、従事年数を35年以上を除き5歳刻みで聞いた。35年以上が29%と一番多く、それに31年~35年が25%と続く形。従事年数の多いほうから従事年数の少ない方へ行くに従い僅かな逆転もあるが構成人数が少なくなっていく傾向が見られ、設問1の年齢分布とともに「若い技工士が少なくなっている」「将来歯科技工士がいなくなる」と心配される歯科医療の不安要因を裏付ける形になった。設問4は、就業形態を聞いたもので、この設問により1~4までを歯科技工所、5と6を医療機関として集計する基礎にした。

設問5では現在の仕事内容を聞いた。選択肢の選択がなして同じことを別枠の括弧内に記載した回答は、選択肢を選んだと振り分けて集計をした。複数回答のため各項目とも総数から見た割合となる。選択肢に振り分けられなかった「その他」の回答の中身は、保険では選択肢の範疇からもれたイン

項目 / 就業先	医療機関	歯科技工所	合計
保険のクラウンブリッジ	35 (18%)	108 (55%)	143 73%
保険の義歯	26 (13%)	98 (50%)	124 63%
自費のセラミック	19 (10%)	61 (31%)	80 41%
自費の義歯	14 (7%)	62 (31%)	76 39%
その他:( )内記載	9 (5%)	18 (9%)	27 14%

複数回答のため各項目ごとの総数197人に占める割合

### 参考 就業歯科技工士と歯科技工所の1996年からの推移

就業歯科技工士	96年末	98年末	00年末	02年末	04年末	06年末	08年末	10年末
全国	36,652	36,569	37,244	36,765	35,668	35,147	35,337	35,413
長野県	696	713	682	677	647	682	677	666
歯科技工所	496	499	498	478	454	498	494	495
病院・診療所	197	210	178	196	187	180	177	169
その他	3	4	6	3	6	4	6	2

  

歯科技工所	96年末	98年末	00年末	02年末	04年末	06年末	08年末	10年末
長野県	371	381	401	405	416	409	409	413
全国	16,779	17,648	18,199	18,722	19,233	19,435	19,369	19,443

統計は隔年で公表されていて10年末が最新。厚生労働省の「衛生行政報告例」より、長野県保険医協会で作成。網掛け部分はピークを示す。松本歯科大学衛生学院・歯科技工士学科の最後の卒業生が出たのは06年(平18)3月。

## 指定申請や施設基準届出の締切日

関東信越厚生局長野事務所での保険医療機関の新規指定の申請並びに施設基準の届出等の直近月の締切日は、次

### 保険医療機関の新規動向

関東信越厚生局ホームページで公開の長野県分の保険医療機関指定状況から医科と歯科の新規分を紹介。本年1月2日~本年1月23日間は、医科の1件だった。(開設・管理者の氏名敬称略)

の通りとなっている。

長野事務所の3月と4月の締切日	
1. 保険医療機関・保険薬局の新規申請	3月19日(火曜日) 4月指定
4月19日(金曜日) 5月指定	
2. 施設基準の届出等	3月1日(金曜日) 3月1日算定開始
4月1日(月曜日) 4月1日算定開始	

**開業医の共済休保**  
お申込みお問い合わせは、代理店の長野協会及び長野県保険医協同組合へ!

名称	診療科名	郵便番号	所在地	電話	開設者・管理者	従事形態	病床	指定日
ひまわりクリニック	耳い	390-0825	松本市並柳2-14-18	0263-87-6565	個人・有賀あや子	常勤1	無	2013/2/1

診療科名は頭文字又は略記載。開設者が個人の場合は開設・管理者は同一。従事形態は診療所は医師、歯科併設は区分明記、歯科診療所は歯科医師。指定期間は指定日より6年。

### アンケートの実施期間

2012年12月14日~2013年1月25日(着分)  
当初の12月中の回収の期限を延期して集計

### アンケートの郵送依頼数と回収数

依頼数の内訳(各機関各歯科技工士宛)			回答
就業先区分	機関数		
歯科技工所	416	(12年10月現在)	154人
歯科技工加算届出の医療機関	診療所 98 病院 6	(12年12月1日現在)	23人 20人
合計	520機関		197人

歯科技工所の416件は宛所なしで戻った24件分を含む複数就業の場合、調査票の人数分のコピー使用を依頼返信用封筒を封入、上記の場合はまとめての返送を依頼

### 3、歯科技工士の仕事に従事して およそ何年ですか？

就業先	0~5年	6~10年	11~15年	16~20年	21~25年	26~30年	31~35年	35年以上	合計
医療機関	4	2	7	2	6	4	11	7	43
歯科技工所	1	2	6	9	19	29	38	49	153
合計	5	4	13	11	25	33	49	56	196
	3%	2%	7%	6%	13%	17%	25%	29%	100%

上で%の母数は、合計の196人でなく、「記入なし」の1人を含む総数197人。

レー、CRインレー、メタルコア、テンポラリークラウン、単冠など、自費関係はインプラント関係の技工、ハイブリットなどの材料の冠やブリッジ、矯正装置など矯正関係技工などが上げられていた。保険と自費にまたがるスプリントの自費関係では全身咬合治療関係のもの、スポーツマウスがあった。

設問5の再掲として選択肢にあった「その他」のものを保険と自費に振り分けて個人別に整理した。その結果「保険のみ扱い」が50人、「自費のみ扱い」が8人、「保険と自費両方を扱う」が大多数の139人となった。

設問6から本アンケートの本題に入る。現在、歯科技工士法では第20条の(業務上の注意)で「歯科技工士については、その業務を行うに当たっては印象採得、咬合採得、試適、装着、その他歯科医師が行うのでなければ、衛生上危害を生ずるおそれのある行為をしてはならない」と診療の補助となる業務を禁止している。したがっ

### 6、現在、チェアサイドに立ち患者さんの口腔内を見ることがありますか？

A. 保険の場合		あると回答の場合(母数=99人)					
就業先	ある	ない	合計	1.印象	2.咬合採得	3.試適	4.その他
医療機関	37	5	42	13	15	30	15
歯科技工所	62	90	152	12	20	49	35
合計	99	95	194	25	35	79	50
母数=194人	51%	49%	100%	25%	35%	80%	51%

  

I. 自費の場合		あると回答の場合(母数=117人)					
就業先	ある	ない	合計	1.印象	2.咬合採得	3.試適	4.その他
医療機関	36	4	40	9	13	29	14
歯科技工所	81	53	134	15	24	61	57
合計	117	57	174	24	37	90	71
母数=174人	67%	33%	100%	21%	32%	77%	61%

て、ここでの対面行為の質問も「チェアサイド立ち」「口腔内を見ることがありますか」として聞き、そのケースを選択肢で聞いた。表とは別に総数197人の分母でみると、保険の場合は50.3%が「ある」と回答、自費の場合も59.4%が「ある」と回答している。保険と自費で9%ほどの差があるが、保険で半数が、自費で6割が「口腔内を見ている」ことがわかった。ただしその頻度は聞いてないので、「時々」や「ケースによって」等を含むものと思われる。選択肢としてあげた印象、咬合採得、試適以外は「その他」で記載してもらった。「その他」では「シェードテイキング(歯の色合わせ)」が一番多く、保険で29人、自費で51人がこれをあげた。「セット時」も続いて多く、保険で14人、自費で13人となっていた。他には、保険で写真を参照治療計画を立てる際の患者さんを前にDr.への助言、患者の社会性について話を聞く、咬合調整立会い、咬合に難のある症例、模型だけでは判断が難しい場合が各1人あった。また自費では治療計画、インプラント補綴治療計画を立てる際の患者さんを前にDr.への助言、設け打ち合わせ、お話と顔、願望など聞き観る咬合治療、咬合に難のある症例が各1人あった。

将来の方向について聞いた設問7は1面掲載の通り。設問7の回答に付随して設けた意見欄71人から寄せられた意見は、次号で紹介する。

## 原稿募集

医療・社会保障全般、時局問題等の論評や意見、学会報告、書評、スポーツ、趣味など幅広く原稿を募集中! 院所や地域での活動を紹介できる「会員広報室」欄もあります。モノクロ写真になりますが写真やフォトエッセイなどの投稿も歓迎。原稿等は1面題字左の本紙発行元まで郵送。ファクシミリ、メール等で。掲載文につき図書カード2千円分贈呈。

県保険医協会では、情報発信の多様化に合わせ、メールアドレスやファクシミリ番号などを登録されてない、又は変更等された会員の先生方に、連絡をお願いします。連絡は、協会(電話026-226-0086、Fax.026-226-8698)へ。Eメールはnagano-hok@doc-net.or.jpまでお願いします。